

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みをととして、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

認定NPO法人 わかやまNPOセンター(和歌山地区)
《地域づくり・防災》

理事長 志場 久起



当センターは和歌山県内を中心に、NPOの組織づくりやネットワーク形成、NPOに携わる人材育成などをととしてNPOを全般的にサポートするとともに、行政・企業・各種組合との連携・協働のお手伝いを行っています。また、最近ではSDGsの実現に向けた活動にも積極的に取り組んでいます。

私たちの暮らす紀伊半島は、風水害や南海トラフを震源とする大地震など、常に災害のリスクにさらされています。そのため、あらゆる主体がさまざまな事態を想定し、防災に取り組む必要があると考え、防災・減災をめざす活動や、万一の災害発生時に備えるための啓発活動などを実施しています。

いつ起きても不思議ではない日本の自然災害の状況を勘案すると、列車乗車中に災害に遭遇する可能性も高く、2024年度はJR西日本さんの協力を得て、鉄道の防災について学びました。今後もSDGsの理念のひとつ「誰一人取り



残さない」社会づくりを常に意識しながら、防災・減災に関する活動を継続してまいります。引き続き、皆さまからのご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

公益財団法人 国際湖沼環境委員会(滋賀地区)
《国際協力・環境保全》

理事長 竹本 和彦



当財団は、1984年に滋賀県大津市で開催された第1回世界湖沼会議において、国連環境計画の提言により、「世界湖沼会議の継続開催」と「世界の湖沼環境保全における人材育成」を目的に設立されました。この会議の開幕日8月27日は、昨年『国連記念日「世界湖沼の日」』に制定されました。

地球上の水資源のうち、容易に利用できる淡水はわずか0.01%で、そのうちの約90%が湖沼・流域に存在します。しかし、世界の水問題の議論で「湖沼・流域」は十分に取り上げられてきませんでした。私たちは、「湖沼・流域」の環境問題が世界の水問題の主要課題として認識されるよう、活動を行っています。

2025年7月には、第20回世界湖沼会議を豪州ブリスベンで開催します。湖沼・流域で活躍する世界中の研究者、行政



官、地域住民、若手活動家が一堂に会し、水資源の保全と管理に関する最前線の研究や解決策を共有します。

第20回世界湖沼会議についてはこちら▶



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。

※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭で商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。